

令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ジェラシュ・パレスチナ難民キャンプ内コミュニティセンター設立のための
建物改築計画」贈与契約書署名式典

2021年11月24日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「ジェラシュ・パレスチナ難民キャンプ内コミュニティセンター設立のための建物改築計画」のための91,538米ドルの贈与契約署名式典がアンマン市内のホテルで実施されました。

本計画は、1978年の設立以来、パレスチナのガザ、ヨルダン川西岸地区、レバノン、ヨルダン国内のパレスチナ難民キャンプで医療、緊急人道支援を始め多岐に亘る支援を実施している「ユナイテッド・パレスチニアン・アピール(UPA)」に対し、同団体がジェラシュ・パレスチナ難民キャンプに新規に設立するコミュニティセンターのための建物の改築費用を支援するものです。本計画によるコミュニティセンターの整備により、同団体は難民キャンプの幅広いニーズを満たすアクティビティの実施やキャンプ住民の社会交流の場の創出が可能となり、パレスチナ難民の経済社会活動の促進及び文化的生活の向上が期待されています。

同式典では、嶋崎大使及びサリーム・ザルUPA事務局長が贈与契約書に署名し、式典出席者からは日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計150件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

嶋崎大使の挨拶



贈与契約への署名①



贈与契約の署名②



式典出席者との記念撮影

